

## 小・中学生平和作文コンクールの入賞作品を表彰しました

市では、平和事業の一環として、子どもたちの平和に対する思いや考えを発表する「小・中学生平和作文コンクール」を毎年実施しています。本年度は、小・中学生合わせて129作品の応募があり、小学生の部2点、中学生の部3点の5人の皆さんが入賞しました。

表彰式では、小・中学生それぞれの最優秀作品の朗読が行われました。身近な暮らしの中で得た経

### 小・中学生平和作文コンクール入賞者

【最優秀賞】2人

- ▶ 中川 絢太さん 西古川小学校6年
- ▶ 多川 彩葉さん 三本木中学校1年

【優秀賞】3人

- ▶ 千葉 南弥さん 西古川小学校6年
- ▶ 板垣 碧さん 古川東中学校3年
- ▶ 大沼 愛さん 三本木中学校3年



▲右側が中学生の部、左側が小学生の部で入賞した皆さん

験や、戦争体験者の話から平和の意味を考え、平和な社会をつくるため自分がやるべきことなどが発表されました。入賞作品は、冊子にまとめ各学校や図書館へ配架するほか、市ウェブサイト(<http://www.city.osakimiyagi.jp/index.cfm/17,0,67.html>)にも掲載します。

ぜひ、子どもたちの平和に対する強い思いを読み、ともに平和について考えてみてはいかがでしょうか。

## 「コロナに負けない！共に前へ！」えひめ宇和島みかんフェアを開催

本市と姉妹都市の愛媛県宇和島市は、12月12日から20日まで、「あ・ら・伊達な道の駅」を会場に「えひめ宇和島みかんフェア」を開催しました。このフェアは、平成30年7月豪雨で被災した、宇和島市の復興を支援しようと始まり、今回で3度目の開催となります。



▲岡原市長(左)から来場者へプレゼント

初日には、岡原文彰宇和島市長が来場し、「2年前の豪雨災害時には、大崎市からの支援に感謝しています。今年は



▲ミカン、じゃこ天など特産品を紹介

コロナ禍で大変ですが、一緒に乗り越えていきましょう」とあいさつされ、来場者にミカンをプレゼントしました。

会場には、宇和島市のミカンや鯛めし、じゃこ天など多数の特産品が用意され、買い求める客でにぎわいました。今後もフェアは継続して開催する予定です。

また、本市と宇和島市は各分野での交流を推進していきます。

## 鹿島台駅前通り公園がオープン

### 「光のファンタジー」点灯式が行われました

12月15日、鹿島台駅前通り公園がオープンし、オープニングセレモニーと鹿島台まちづくり協議会が主催の鹿島台「光のファンタジー」点灯式が行われました。

鹿島台駅前通り公園は、大崎市宝大使でもある、ジー・オー・ピー株式会社代表取締役千田豊治様より寄附をいただき、鹿島台駅周辺の活性化を進めるための施策として市で事業を進め、駅と一体となった交流の場として建設を行いました。

公園の名称「鹿島台駅前通り公園」には「鹿島台駅」と「駅前通り」のキーワードを使用することにより、誰にでも所在が分かりやすく、南の玄関口のにぎわいある市街地形成のシンボルとして、多くの市民から親しまれる施設になるよう期待が込められています。

「光のファンタジー」では、公園内のステージなどにはLEDライトを飾りつけ、青や緑などで光る幻想的な風景で見る人を楽しませていました。



▲飾り付けがされた鹿島台駅前通り公園

### 「鹿島台駅前通り公園」施設概要

公園面積	474㎡
ステージ面積	70㎡(屋根付き)
設備など	サークルベンチ1基、サイン看板1基、植栽(ベニシダレ桜、バーハーバー)
事業費	3,353万円(土地は別途)

## vol.9

### 世界農業遺産「大崎耕土」モニターツアーを実施しました

世界農業遺産推進課自然共生推進担当 ☎23-2281

## オオサキワンダーミュージアム 人と大自然の青空博物館

大崎地域世界農業遺産推進協議会では、世界農業遺産「大崎耕土」の地域資源を活かした新たなツーリズムサービスを造成するため、モニターツアーを実施しました。

モニターツアーでは、既存のフィールドミュージアムをベースに「食」をプラスした「たべるフィールドミュージアム」構想のもと、大崎耕土全体をひとつのレストランとして捉え、野外で楽しむ「食」と「体験」をプラスした企画「食農体験レストラン」と、大崎耕土の湯治文化を体験する企画「農泊湯治」を行いました。

「食農体験レストラン」では、稲刈り体験の後で、新米や大崎耕土の食材を使った「農ダブル弁当」を食べて、大崎耕土の恵みを感じました。

また、「農泊湯治」では、南原穴堰を見学し、先人の知恵と苦勞を学ぶとともに、郷土料理づくりや、生産者とシェフがコラボし、大崎耕土の食材を使ったコース料理を堪能しました。

今後、参加者からいただいた意見をもとに、ツーリズム商品の磨き上げを行います。



▲稲刈り体験



▲稲刈り後には野外で食事を楽しみました



▲新米や大崎耕土の食材をふんだんに使用した「農ダブル弁当」



▲郷土料理を作るツアー参加者

大崎耕土ウェブサイト  
OSAKI KOUDO Website



28日	27日	19日	18日	12日	8日	4日	1日	2020
● 仕事納め式	● 鳴子総合支所新庁舎棟上げを祝う会	● 姉妹都市宇和島フェア(〜30日)	● 第15回読書感想文コンクール表彰式 ● 年末年始特別警戒「安全・安心まちづくり」合同キャンペーン開始式	● えひめ宇和島みかんフェア(〜20日)	● 令和2年第4回大崎市議会定例会(〜22日)	● 環境ポスター表彰式	● 大崎市安全・安心まちづくり合同キャンペーン	12月の主な出来事
<p>令和二年秋の叙勲 瑞宝単光章伝達式</p> <p>▶ 長年の消防団活動の功により、瑞宝単光章を受章した千葉武夫氏(右から2人目)と相澤敏男氏(右から3人目)。令和2年11月26日、市役所で伝達。</p>								